



栢田小だより

八王子市立栢田小学校長 平田 英一郎
(ホームページ) <https://hachioji-school.ed.jp/kngde/>

今年度の合言葉は「チーム栢田 ～栢田小のために私はなにができるのか?～」です!

校長 平田 英一郎

様々な花たちが彩りを添えてくれていた季節から、季節が少しずつ変わり、青葉がまぶしい季節となってきました。校庭の藤の花も咲き始めました。たくましく伸びやかな生命の営みを感じる季節です。

新年度を迎えて1か月。新しく本校の仲間となった1年生の教室には、6年生のお兄さんお姉さんが交代で来てくれ、いろいろなお世話をしてくれています。1年生は、少しずつ6年生の手を借りなくても朝の準備等ができるようになってきています。一方「自分が1年生の時の憧れの6年生」になるべく、6年生も大きく成長しています。

さて、今年度の合言葉は「チーム栢田 ～栢田小のために私はなにができるのか?～」です。言葉が適切かは分かりませんが名前だけの「チーム〇〇小」はよく聞きます。名前だけではなく、栢田小のみんなで(子どもたちも、保護者・地域の皆さんも、教職員も全員で)「チーム栢田」を作り上げていきたいと思っています。

例えば・・・。

- ・自分を安心してさらけ出せる(みんな違って、みんな良いんだ!)と思える栢田小
 - ・自分にできることに関しては一人ひとりが誠意をもって行おうとする栢田小。
 - ・自分なりに努力したけれどどうにもならないことは仲間がサポートしてくれる栢田小。
 - ・悩んでいる仲間にはそっと声をかける。一緒に悩む栢田小。そんな「ワンチーム」な学校を目指していきます。
- 始業式の日全校児童に話した内容は以下のような内容です。

栢田小の一員として 大きく2つ。

- 1) 恥じない行動を 例) 迷惑をかけない行動を(道一杯広がって歩いたり 大きな声で騒いだり) 悲しい想いをみんなにさせないように(事件・事故にあわないように)
- 2) もっと栢田小を良くする努力を 例) ごみが落ちていたら拾える 危ないから廊下は走らない 委員会の活動で見えないところでみんなのために活動する。1年生のお世話をする。トイレトペーパーの補充。放送当番等々。児童会・代表委員会で栢田小でみんなが楽しく過ごせるような提案をする。(あいさつ運動 プラス1の仕事ぶり)

大人もぜひ自分の良さやストロングポイントを見直してみて、お子さんのため、学校のために何だったらできるのか考え、そして実行してみてください。「一歩踏み出し」て実現できたら「今の自分が好き」ときっと思えると思います。そして、新しいことにさらに挑戦したくなり、大いに自己肯定感が高まると思います。

<<キーワード>>

自己肯定感(セルフエスティーム)の3つの構成要素(諸説あります)

自己有能感・・・自分には課題を解決し困難を乗り越える力があると感じる感覚

自己有用感・・・自分は人の役に立つことができると感じる感覚

絆感・・・自分は一人じゃない、自分には支えてくれる人がいると感じる感覚

